

カリキュラムマップ

カリキュラムの内容と関連性

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための科目が、どのように配置されているのか、各科目の関係性を示した、カリキュラムの体系を俯瞰するための図です。履修計画の参考にしてください。

芸術教養学科・学科専門教育科目の構成

Warming up

考えやまなざしを身につける

Step1

我々がどこから来たのかを知る「文化的伝統」科目群と、今日的なデザイン思考によって社会や生活を見つめ「モノやコトに意味を与えること」を考えるまなざしを養う「デザイン思考」科目群とがある。それぞれ「概論」の他、「行事・イベント」「空間」「編集」「コミュニティ」のジャンルが対となっている。

TR 芸術教養入門

芸術教養学科での学びの進め方を理解する。

デザイン思考で現在・未来を知る

文化・伝統を学び、過去を知る

WS 芸術教養講義 1

概説

WS 芸術教養講義 6

WS 芸術教養講義 2

時間・イベント・行事

WS 芸術教養講義 7

WS 芸術教養講義 3

空間

WS 芸術教養講義 8

WS 芸術教養講義 4

編集

WS 芸術教養講義 9

WS 芸術教養講義 5

協働・コミュニティ

WS 芸術教養講義 10

今を読み解く

Step2

今日の活動を Webmagazine で知る。デザインの、伝統文化的な活動の比較や、類似例を調査したり、先行研究を調べ考察する。

デザイン

伝統文化

TR 芸術教養研究 1

Webmagazine
アネモメトリ

TR 芸術教養研究 3

TR 芸術教養研究 2

TR 芸術教養研究 4

問いを立て、考察する

Step3

ジャンルや観点などの枠組の中で、自らの考察対象を調査し、議論を行う。その成果をレポートにまとめる。

TX 芸術教養演習 1

ジャンル区分「伝統的行事」「食文化」「景観」「工芸・美術」

TX 芸術教養演習 2

観点「イベントのデザイン」「空間造形」「情報編集」「コミュニティ運営」

地域でのデザイン・芸術活動や文化遺産など、幅広い視点に立った芸術的な資産を取り上げ、評価報告書を作成する。

TX 卒業研究

地域の「文化資産評価報告書」を作成。ウェブサイトで報告書を公開する。

卒業する時に身に付けるべき獲得目標

1. 他者を尊重し、他者とともに学び続け、成長できる。
2. 文化芸術の当事者にふさわしい広い視野を持って批判的考察ができる。
3. 文化芸術の普及および構想設計に貢献できる。

近代的市民社会のなかで、東アジアの文化的伝統とその芸術的洗練をもって、自己と環境のありかたの新しい形を構想できる力を持った人材となる。